化していますが、会食会は控えています。
皆様の益々のご発展をお祈りいたします。

○田崎哲郎
豊橋市草間町寺東十四
―五
いつもご案内を頂きながら出席することができず、申し訳なく思っております。三田定時制にいたのは三十五年前になります。往時茫々の感がありますが、三田の昼から転じた折の若い日の情熱をなつかしく思います。

○寺師節子
練馬区石神井町八―二十九―二十一
ともかきありがとうございました。
たし算もひき算もなくあるがまま生かされて、老いを歩いています。
盛会を祈ります。

○福田勝男
八王子市寺田町四三三―一二七―一〇一
この四月から都立府中東高校で勤務しています。教員生活も残り少なくなりました。何とか無事に務めたいと思っています。

○藤井秀夫
中野区野方四―二十六
―六
前略、古松　彰先生の叙勲の記事拝見し、お慶び申し上げると共に、嬉しく思いました。また、北原安門先生の記事拝見、先生らしさをうかがいました。

○松尾正恒
杉並区阿佐谷北五―五
―四
総会おめでとう御座居ます。
二十三日は欠席できない会合が別途ありますので失礼させて頂きます。
小生、地域の老人会の会長として、高齢者の方々のお世話をして居ります。御参集の皆様の御多幸をお祈り申し上げます。

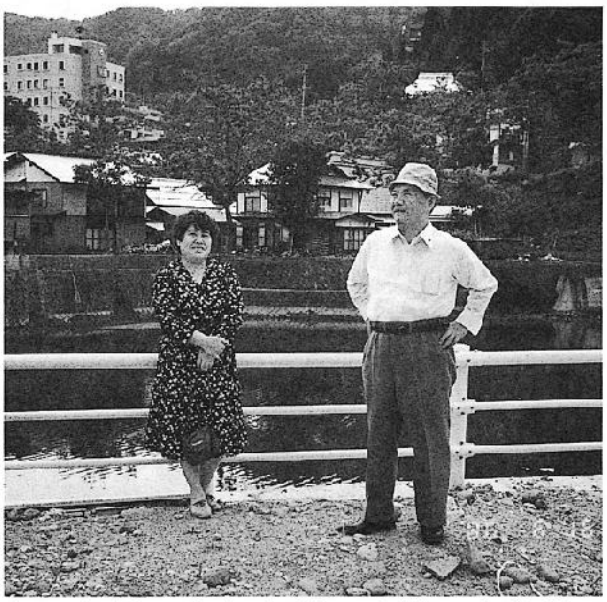
○三山　創
藤沢市片瀬山三―十四
―十
四十数年前三田高校定時制で化学を教えていた頃をなつかしく思い出しています。長岡の大学を定年後十年以上たち、時々新潟経営大学や新潟の異業種交流グループの助言者として出かける以外は、のんびりとすごしています。

三田・麻布・館林
―半世紀の思い出―

19年卒業　中村幸子

三田の二部（定時制）を卒業と同時に、教頭で級主任だった武田先生に頼まれ、事務の仕事をするようになりました。
日増しに空襲が激しくなり二十年四月十三日、入学式を終えてから警報が鳴り、帰宅後の空襲で我が家も焼失。五月二十五日の空襲で三田通りも焼け落ち、その報告に、自転車で現在の東京会館内に移っていた都庁に行きました。
戦後途絶えていた同窓会を復活させようと、古い名簿を頼りに何度も幹事の方達、ご在職の先生方のお力添えで、二十五年九月十日に第一回総会を開く事が出来ました。
その後は学校の行事の日に併せて毎年総会を開き、在校生とも一緒なので出席者も多く、和やかで活気に満ちた会合が持てました。
なかでもフォークダンスは目玉商品で毎回好評でした。今も我が家に来る卒業生は、当時を懐かしがっていました。

前回の「ともかき」で故人になった中村泰造についてのお問合せが多かったので、何か一筆をとの事でしたので、少し書かせていただきます。
彼は二十三年十一月に生物の教員として着任。
その後、四十五年に麻布学園の校長が戦前の台湾帝国大学での上司に当り、招かれて中学一年の栽培という授業が行われる事になり、一学年三百名分のトロ箱に土を入れて屋上に並べ、各自野菜等作り、都会育ちの生徒達は楽しく作業していたようです。
彼は通勤時の混雑を避け、朝の弁当持参で早く来る生徒と共に富士山を仰ぎながら、朝弁を食べていたようです。
亀戸の家に生徒は本当に多く訪ねて来、先生の家に行くと、胃が痛くなる程ごちそうして呉れると噂になってます。
僕は朝食抜きで来ましたと言われ、男の子の食欲に楽しい悲鳴を上げた事もあります。



世話する人があって、館林のツツジの公園近くの沼辺に建てた木造平屋建の家に、日に当って入浴するという夢の叶った家が気に入って週末に通ってましたが、退職後は好きな旅行も行かず、雑木林の庭と芝生、毎日本を読み好きな作業をし、麻布の子は卒業旅行に我が家をえらび、生徒の親達は公園のツツジの時に芝生でクラス会を開くなど、常に来客の多い家でした。
東京へは、月に一回医師の検診を受けに行くだけで、平成九年一月末に行った際に、当時流行の悪性の風邪に冒されたらしく体調をくずし、済生会病院の医師の指示で救急車で館林厚生病院に行き、検査の結果即刻入院点滴で、食事も水も与えない事、夜も付き添う事と言われたのが二月十三日で、四日後の十七日午前六時十分、私の手をとりながら眠るように、本当に眠るように静かに息を引取りました。
没後、三田、麻布の卒業生、父兄、職員が多く来て下さり、突然な事なのに遠くからこれだけの人達が、斎場が溢れる程お出で下さり遅くまで居て下さった事、私は先生を改めて尊敬しますと、葬儀一切を三日間取り仕切って下さった方が、申されてました。

三田の卒業生は二十五年から三十九年迄の方が多く、お便りも沢山頂きました。
三回忌を終えた今も、浅草にあるお墓参りをして下さった二十五年位前の生徒のお母様より電話があり、お寺の奥様が、今の時代こんなにも多くお参りに来られるのは、中村さんてどんな御方だったのでしょうか？と、言われましたとの事でした。
三田の生物班はお孫さんのいる年代ですが、今度は皆で泊りがけでバーベキューをし、風呂にも入って先生の話をしようと言い、ご近所の方はその時ギョーザを作ってあげます、植木屋さんは肉を持って来ますと言い、私が勤めていた蔵前工高の人達は、毎年我が家で法要を営んで下さいます。
先生は人を愛し、人に愛され、人を疑う事のない純真な心の人だったと、今も私達夫婦をお父さん、お母さんと言っていたので、今の私の安否を気遣って下さいます。少しも苦しまずに静かに逝った彼は、本当に幸せでした。
有難うございました。